

第 134 回「言葉の院外処方箋」

「内から湧き出る joy」 ～ 『ランタン』 ～

2022 年 11 月 2 日午前中 恵泉女学園創立 93 周年記念式に赴いた。筆者は理事長として挨拶の機会が与えられた。【女子教育に 大いなる理解を示した新渡戸稲造 (1862-1933) が援護した河井道 (1877-1953: 恵泉女学園 創立者) は まさに、『種を蒔く人になりなさい』の実践であります。人間は、自分では「希望のない状況」であると思ったとしても、「人生の方からは期待されている存在」であると実感する深い学びの時が与えられています。現代は、「表面的な happy」vs 「内から湧き出る joy」の違いの考察の時ではないでしょうか!? 河井道は自著『わたしのランタン』の終わりに「ここまで、わたしは、私のランタンをかかげてきた。時がくると、それは別の手へと引き継がれて、さらに先へと運ばれていくであろう。私たちの魂の「太陽」が、この世界の面から、うれいと闇の跡を ひとひらも残さず追いはらうまで、このランタンが、芯を切りととのえられ、燃え続けていくように、わたしはそれのみを願っている」と記述している。】と語った。そして、永年勤続者の表彰(感謝状、記念品贈呈)を行った。その後、恵泉女学園卒業生で、今年 (2022 年度) の文化功労者を受賞された小池一子先生の講演『クリエイティブ・マインド』を拝聴した。

2022年11月2日午後は、順天堂大大学院修士課程で、海外からの留学生向けの英語の講義『Overview of Human Pathology and Oncology : 発がん機構総論 Carcinogenesis』に向かった。真摯な留学生との新鮮な授業の時となった。

2022年11月2日夜は、乳がん患者会「Ruban Rose」の『大人のがん教室』での講演『がん患者の心』(江戸川区小岩)を依頼された。早速、スタッフの賢明な働きに『偉大なるお節介症候群』認定証が授与される運びとなった。

貴殿は以下の診断基準を満たしたため、ここに認定いたします。

- 1) 暇げな風貌**
- 2) 偉大なるお節介**
- 3) 速効性と英断**

大変有意義な充実した貴重な『3連ちゃん症候群の日』であった。